

浅井町 ふれあいたより

9月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 平成 29 年 9 月 1 日 発行者 浅井町地域づくり協議会

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所)

「誰かのために」

一宮市立浅井中学校 校長 山田貞二

6月4日(日)に浅井中小学校で「浅井連区防災訓練」が行われました。本校の生徒もボランティアとして炊き出しのお手伝いをさせていただきました。東日本大震災や熊本地震等の大地震だけでなく、集中豪雨や台風等による避難も考えられる今日、避難所ではどのようなことが行われているのかを知る貴重な体験になりました。また、そうしたことを知るだけでなく、実際に地域の人のために「自分を生かす」ことの大切さを学んでくれました。熊本地震の際の避難所でも、中学生は立派なボランティアとして、素晴らしい活動をしています。浅井町においても、いざというときには中学生の力も必要になってきます。今回の経験を生かして、「いざ」というときには、力を発揮してほしいと思います。



学校でも、「誰かのために」自分を生かすという意識を高めるための取組を行っています。2年生は5月に普通救命講習会を受講し、けがや病気で倒れた人に対して、救急車要請の仕方や心肺蘇生の仕方、AEDの使い方を消防署員の方から指導していただきました。万が一に備えて、かけがえのない命を守るために大切な勉強です。また、1年生は、福祉実践教室を行い、高齢者疑似体験、車いす体験、手話、



点字、要約筆記などの講座に分かれて、講師の先生からお話を聞き、それぞれの講座の体験をしました。この二つの講習でも、中学生として困っている方に対して、様々な支援ができることを学びました。

そして7月18日(火)には、車いすで全国をまわり、気軽に手助けすることの大切さを訴える「helpush 運動」を進めている寺田湧将さんにおいでいただきました。トークショーや道徳の授業を通じて、「助けてください」「お手伝いしてください」と気軽に声を掛け合い、助けを求めることが「共生社会」をつくっていく大事な一歩になることを教えていただきました。これからも、本校の生徒が、地域の一員として、

自分を生かし、誰かのために気持ちよく働くことができるような人となるよう、様々な取組を進めてまいります。

成人講座始まる

7月20日(木)浅井公民館

主催の「成人講座」が始まりました。第1回目は開講式に引き続き、『ハワイアン演奏とフラダンス』。男性ボーカルの歌声の中、ダンス衣装を着けた女性のしなやかな踊りに会場からは黄色いため息が溢れました。これから6回開催される成人講座に熱い期待が寄せられていました。



孫といっしょに社会見学

森 起志男 連区長



(佐千原浄水場で係員による説明)

しさを勉強しました。祖父母と孫の絆を一層深めた夏休みの一日でした。

7月28日(金)浅井町連区のおじいちゃん、おばあちゃんと夏休みに入ったお孫さん、21組が「孫といっしょに社会見学」に参加しました。佐千原浄水場、地域文化広場、美濃和紙の里会館、岐阜県防災センターの4カ所を熱心に見学しました。浄水場では、水道の仕組みや安全・安心の重要性を学び、地域文化広場のプラネタリウムでは、夏の夜空の七夕ショーを観て、和やかなひと時を過ごしました。和紙の里で昼食の後、伝統工芸の紙すきを体験し、最後に岐阜県防災センターで煙体験や地震体験で自然災害の恐ろ

鮎つかみどり

8月5日(土)浅井公民館の駐車場で

公民館家庭学習部主催の「鮎つかみどり大会」が開催され、親子63名の参加者が素手による鮎つかみを体験しました。

当日の朝、木曽川漁業組合から仕入れた新鮮で元気一杯の鮎を親子で励まし合いながら、ある子は簡単にある子は恐々つかんでいました。水槽から飛び出すほどの威勢の良い鮎も次第に子どもたちに捕まえられ、それぞれの家庭の食卓に並んだことと思います。来年もご参加をお待ちしています。



浅井町の盆踊り大会

7月中旬から浅井町各地で盆踊り大会が盛大に開催されております。写真でご紹介させていただきますので機会があれば来年是非ご参加頂き地域の伝統文化を体験し、地域とのふれあいを深めようではありませんか。



ふれあい盆踊り大会(7.15)



宝生町納涼祭(7.22)



江森盆踊り大会(8.5)



長田納涼祭(8.5)



河端盆踊り大会(8.5)



河田盆踊り大会(8.5・6)



黒岩川祭り(8.5)



東浅井納涼盆踊り大会(8.13)